

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地診療所及び串診療所

担当部 健康福祉部

担当課 健康増進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
徳地地域の住民		・市徳地診療所での指定管理者による週6日の診療業務を実施しました。 ・市串診療所での週1回の診療業務は、市徳地診療所の指定管理者が実施しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
対象地域の住民が、身近なところで医療を受けることができます。			
総合計画体系	政策	子育て・健康福祉	
	施策	健康づくりの推進と地域医療の充実	
	基本事業	医療体制の充実	
事業開始背景等	山村等の医療に恵まれない地域住民の医療を確保するため、S51年に柚野診療所を、S57年に串診療所を開設しました。 H18年4月に串診療所を串地域交流センター内へ移転しました。 無医地区化の懸念から、徳地地域複合型拠点施設整備に併せた診療所建設の要望が地域づくり協議会等から提出され、山口市徳地診療所を設置する方針をR2年に定め、R4年11月に供用を開始しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	☒ 貢献度大 ☐ 貢献度中 ☐ 貢献度小 ☐ 基礎的事務事業		☐ 法定受託事業 ☒ 妥当性がある ☐ 見直し余地あり
	有効性	成果状況	令和4年11月に開設した徳地診療所は、1日あたりの平均受診者数が令和7年度は約50人を数えており、指定管理者公募当時の見込数40人を上回る実績を挙げていることから地域の拠点医療機関として定着していると考えます。 また、串診療所、柚野診療所ともに診療日には、一定数の受診者があり、高齢者をはじめとして、地域住民が身近なところで医療を受けられる環境を提供できていると考えます。
		☐ 向上(最高状態維持含む) ☒ 維持・横ばい ☐ 低下・悪化	
		成果向上余地	
☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ なし			
効率性	類似事業との再編成		類似の事業は、ありません。
	☐ 再編成できる(理由→) ☒ 再編成できない(理由→) ☐ 類似事業なし		
	コスト削減余地		
☐ 効率化余地あり ☒ 現状手段が適切	令和4年11月から市徳地診療所と串診療所との一体的な管理運営を行っており、これにより、業務の効率化、経費節減が図られていると考えます。		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
全国各地での医療施設の受託運営を行っている公益社団法人地域医療振興協会の本部事務局のサポート体制と、診療所所長の献身的な御尽力により、地域住民から支持され、かつ、安定的な運営がなされています。 また、外来診療から訪問診療に移行する患者への対応など医療ニーズの変化にも柔軟に対応されています。三谷地区の巡回診療では、月2日の診療の内、1日は巡回診療車による遠隔医療システムを用いたオンライン診療を実施し、最先端技術を活用するなど、指定管理者の有する多様なネットワークや情報収集による知見に基づく医療サービスが提供されています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名： 山口市串診療所

指定管理者： 公益社団法人地域医療振興協会

指定期間： 令和 7年度～令和9年度

評価項目				評価コメント					評価					評価点
									不履行 多数	一部不 履行	良好	優秀	特に 優秀	
									(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務など、適正な施設の運営が行われたか。	医療事務員が受付業務を行っており、地域の実情にあわせた運営が行われている。							☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が直接清掃を行うなど、施設全体を見回することで必要な維持管理業務が行われている。							☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	主たる業務の再委託は行っていない。							☆			3
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	業務に必要な職員を過不足なく配置しており、職員に対する様々な研修が行われている。							☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	徳地地域内の保育園園児検診や地域ケア会議への出席が行われている。							☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	クレーム等には適切な対応が行われている。							☆			3
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	従業員に対しては労働基準法に基づいた労働環境の充実が図られている。							☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	適切に対応されている。							☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	適切に対応されている。							☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	適切に対応されている。							☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	防災訓練等の危機管理計画を作成し、定期的な訓練を実施している。							☆			3
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	ホームページを主たる広報媒体に定めながら地域住民への情報提供が行われている。							☆		
利用者満足度		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	住民ニーズの把握に努めている。							☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	週1回の診療の中で、健康相談等の地域の医療ニーズを踏まえた自主事業が行われている。							☆			3
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	適切に実施されている。							☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケートを踏まえた待ち時間解消対応などに取り組んでいる。							☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	地域の医療ニーズに対応することで、一定の受診者数を維持してる。							☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	収支状況は、当初収支計画と整合している。							☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	指定管理者本部事務局の指導や運営サポートにより安定的な経営が行われている。							☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	指定管理者本部事務局の指導や運営サポートにより適切な処理が行われている。							☆			3
評 点 合 計								標準	60		加算		60	
審査結果		指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会は全国各地で医療施設の受託、運営を行っており、徳地診療所及び串診療所の運営にあっても、その知見が生かされた専門性の高い施設管理運営が行われている。 地域の医療ニーズを適切に把握し、提供されるサービスへ反映した結果が、地域に支持されている。 また、徳地診療所との一体的な管理運営により効率的な経営が行われている。							年度評価			A		
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価					
				A										
総 評									総合評価					

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

